



デル・テクノロジーズ ニュースレター

2024年 第3四半期 (8月~10月)

ご挨拶

デル・テクノロジーズ広報部門より、私どもの第3四半期である2024年8月から2024年10月までの活動について、ご報告させていただきます。

10月3日に開催した『Dell Technologies Forum 2024 – Japan』では、社長の犬塚がご挨拶させていただくとともに、CTO&CAIOのジョン・ローズによる基調講演、お客様によるご講演およびパネルディスカッションを通じて、AI時代におけるさまざまな製品、ソリューション、パートナーシップを発表しました。AIに関しては、大手町本社内にお客様、パートナー様との共創の場として「AI Innovation Lab」を開設しました。

その他の活動については、当ニュースレターにてご紹介させていただきます。

引き続き、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

デル・テクノロジーズ株式会社
広報部一同



Masashi
Shimbo



Yoshinori
Okada



Aya
Takemura



Ayaka
Watanabe

『Dell Technologies Forum 2024 – Japan』 開催

AIでイノベーションを加速

10月3日、『Dell Technologies Forum 2024 – Japan』を開催しました。今年は、「The Next Now（今こそ新たな変革を）」をテーマに、「AI Edition」を副題として、AIに関する様々なトピックをご紹介しました。デル・テクノロジーズ 代表取締役社長の 大塚俊彦の基調講演もAIを軸とし、AI時代が到来する中で、企業はAI活用による変革への道のりを歩み出しており、生成AIがアイデアからイノベーションまでのプロセスを加速させるといった主旨のお話をさせていただきました。イベントは[オンデマンド](#)で視聴可能です。

メディア・アナリスト ラウンドテーブル

基調講演終了後には、メディア・アナリスト ラウンドテーブルを開催しました。Dell Technologies グローバル CTO&CAIOの ジョン・ローズ、デル・テクノロジーズ 常務執行役員の日下幸徳が登壇し、基調講演を受けて、参加者のご質問にお答えしました。質問を受けて、日本と世界におけるAI導入状況の比較や、AI活用のための戦略ポイント、今年40周年を迎えたデル・テクノロジーズが、AIの基盤を作ってきた歴史などについてお話させていただきました。



「AI Innovation Lab」開設

9月25日、企業におけるAI活用を推進し、日本のAIイノベーションに貢献するために、企業ユーザーが、AIソリューションの実践や検証をできる施設「Solution Center AI Innovation Lab（以下AI Innovation Lab）」を、デル・テクノロジーズ 大手町本社に開設しました。

「AI Innovation Lab」は、企業ユーザーが、AI、エッジ、マルチクラウド、データ マネジメントにおける国内企業のイノベーションを促進するための共創と学びの場となります。

デル・テクノロジーズは、「AI Innovation Lab」を通じて、日本市場全体のイノベーション促進への貢献を目指します。また、国内スタートアップの各種AI製品のデモを、海外拠点にある「AI Innovation Lab」に展開・連携することで、これらの企業の海外進出もサポートしていきます。



PCサーバー部門で、顧客満足度第1位

[デル・テクノロジーズ、「日経コンピュータ顧客満足度調査 2024-2025」において、PCサーバー部門で顧客満足度 1 位を獲得](#)



8月29日、日経コンピュータ（2024年9月5日号）において、PCサーバー部門で顧客満足度 1 位を獲得したことを発表しました。なお、5つの評価項目「性能・機能」「信頼性」「運用性」「コスト」「サポート」の全項目で部門トップのスコアとなりました。

AIを支える各種ソリューション

9月2日: [デル・テクノロジーズとNutanix、ハイブリッド クラウド環境を合理化する2つのソリューションを発表](#)

9月5日: [デル・テクノロジーズとRed Hatがコラボレーションを発表「Dell PowerEdge」と「Red Hat Enterprise Linux AI」を基盤に、オープンソースAIワークロードの導入を促進](#)

9月25日: [デル・テクノロジーズ、日本に「AI Innovation Lab」を新たに開設](#)

10月11日: [デル・テクノロジーズ、新しい「Dell PowerEdge」サーバーで「Dell AI Factory」を拡張 - エンタープライズ企業のAI導入を加速](#)

10月21日: [「Dell AI Factory」の新たな機能を発表 冷却テクノロジー、高密度コンピューティング、AIストレージなどにより、データセンターを変革](#)

10月23日: [「Dell PowerMax」の機能強化を発表 AI活用による効率性、サイバーセキュリティ、マルチクラウドの俊敏性を強化する数々のイノベーション](#)

お客様事例の紹介

[武蔵野赤十字病院が、仮想化インフラストラクチャーの技術更新に、デル・テクノロジーズを選択](#)



9月12日、日本赤十字社 武蔵野赤十字病院の各種部門の医療業務を支えている仮想化インフラストラクチャーの技術更新を支援したことを発表しました。VMware vSphereベースの仮想化基盤の刷新により、インフラ環境の強化とIT投資の最適化、迅速な緊急対応ができるようになりました。

2024年度第2四半期の業績を発表

[当会計年度第2四半期の業績を発表](#)

8月30日、第2四半期の売上高は前年同期比9%増の250億ドル、営業利益は前年同期比15%増の13億ドル、非GAAPベースの営業利益は前年同期比3%増の20億ドルでした。



デル・テクノロジーズのアンケート調査結果

9月27日、[Z世代の生成AIの活用実態・働き方・ITデバイスに関する調査結果](#)を発表しました。本調査は、仕事や学業での貸与品も含めPCを普段利用している全国のZ世代の会社員/学生、600人を対象として2024年7月に実施しました。



AI / Copilot+ PCを続々と提供開始！！

9月20日にAI PC新製品発表会を開催し、インテル製のCore Ultra（シリーズ2）を搭載した最新のフラッグシップAI PCとなる「New XPS 13」を発表しました。ご参加いただいた多くの記者の皆様には実機に触れながら、デル・テクノロジー製品への理解を深めていただきました。

今年の5月に発表し、順次提供を開始したSnapdragon X Eliteおよび Snapdragon X Plusを搭載したCopilot+ PCに加わる、デル・テクノロジーのAI PC「New XPS 13」にご期待ください。

デル・テクノロジーのAI / Copilot+ AI PC

デル・テクノロジーでは、卓越したパフォーマンス、画期的なバッテリー駆動時間、優れたAIエクスペリエンスを実現する豊富なラインナップのAI / Copilot+ PCを法人・個人向けに提供しています。

- New Latitude 7455ノートパソコンとNew Latitude 5455ノートパソコン：革新的なパフォーマンス、画期的なバッテリー持続時間、Windows 11 Arm®、次世代AI機能を備えているため、複雑なワークロードにも難なく対処。
- New XPS 13ノートパソコン：重量1.18 kgのXPS史上最薄ノートパソコンなら、どんな場所でもコンテンツ作成や作業が可能。インテル® Core™ Ultraプロセッサ（シリーズ2）を搭載し、よりパワフルなAIを実現。
- XPS 13ノートパソコン：オンデバイスAIとSnapdragon® X Eliteによる革新的なパフォーマンスと、1日以上利用できる画期的なバッテリー持続時間を備えた13インチ ノートパソコン。
- New Inspiron 14ノートパソコンとNew Inspiron 14 Plusノートパソコン：オンデバイスAIを搭載し、持続可能な設計により高速で応答性の高いパフォーマンスと卓越したバッテリー持続時間を実現するこれらのノートパソコンで日常生活をシンプルに。



 Copilot+PC



脱炭素とサーキュラー エコノミーの勉強会を実施

10月17日に「持続可能な未来に向けた脱炭素と循環経済（サーキュラーエコノミー）への考え方と取り組み」をテーマにしたメディア・アナリスト向けの勉強会を開催しました。コーポレートサステナビリティ&ESG カスタマーリードジャパンの松本笑美が登壇し、脱炭素・気候変動対策の考え方、循環型経済のコンセプトと取り組み、今後のAIとサステナビリティの両立について解説しました。デル・テクノロジーズは、脱炭素社会と循環経済の実現を目指し、サステナビリティ目標を掲げています。今後も、新たなテーマで勉強会を開催していきますので、ぜひご参加ください。



脱炭素の目標と取り組み

デル・テクノロジーズ

サーキュラーデザインの原則

- 耐久性**
 使用期間を通じてより優れた耐久性を発揮するように設計し、可能な限り製品寿命を延長する
- サステナブルな素材**
 循環型または環境負荷の少ない素材を選んで作成し、高品位な素材の流れを活用する
- 修理と再製**
 モジュラー型の設計を採用し、部品と素材に簡単にアクセスできるようにする
- 非物質化と最適化**
 必要な素材を削減し、アーキテクチャーを最適化して合理化を図る
- 回収可能な設計**
 再利用、再生、リサイクルできるような部品の収集や素材の回収を簡単にする
- ビジネス活用への進化**
 製品回収、カスケード式の所有権、アズアサービスソリューションを提供する

DELL Technologies

サーキュラー エコノミーの考え方

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞

デル・テクノロジーズ株式会社

広報部： 新保将 武村綾 岡田吉功 渡辺絢香
jpcorporatecommunications@dell.com

ニュースルーム



ブログ



Follow Us!



DELL Technologies